



日本上座仏教修道会



浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」工事開始

シーマー（戒壇）

「シーマー」とは、バーリ言葉で、「戒壇（授具足戒の場）」と日本語で訳されています。比丘サンガが戒律の確認を行う聖なる特別な場所の事です。このシーマー（戒壇）が在れば、お釈迦さまの教えを伝える比丘サンガのための比丘出家儀式、新月・満月のウポサタの日に戒清浄になるための戒律の儀式、「カティナ・シーワラ」という特別な衣の儀式など、戒律に関する儀式を行うことができます。これらの儀式のために、このシーマー（戒壇）は必要とされます。

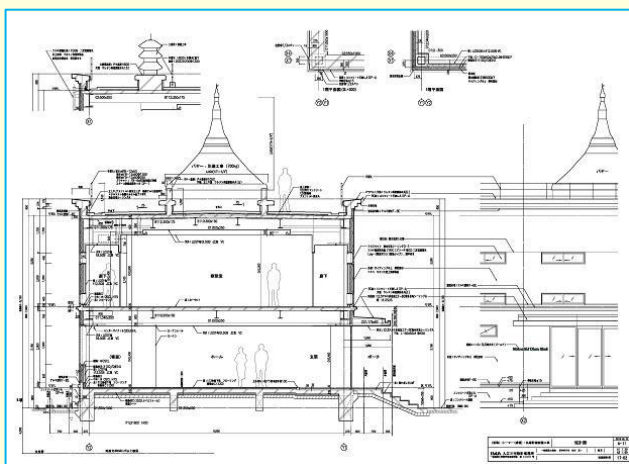
このように「シーマー（戒壇）」とは、比丘サンガが存在するために最も重要な場所であり、特別な聖地なのです。比丘サンガが存在すれば、お釈迦さまの教えを伝えることができます。

三宝、比丘サンガが存在するための「シーマー（戒壇）」についての功德は、輪廻解脱、涅槃に至るまで善い結果をもたらします。

仏塔建立 について

「仏塔」とは、お釈迦さまの仏舍利やお釈迦さまに関係がある物を奉安するとともに大切な「塔」です。浄心庵シーマー（戒壇）の土地の上に、平面 10.5×19mの2階建と屋上を建設いたします。1階は、比丘サンガの居室、瞑想者宿泊施設、多目的ホールとして、2階は、瞑想堂として浄心庵仏像が奉安され、その後部スペースには、三宝をはじめ上座仏教に関する博物館が設けられます。屋上は、中心部にミャンマー式シェーダゴンパゴダ形仏塔を大切に安置します。北側中央部は、日本式仏塔として五重塔を安置する予定です。この2つの仏塔は、ミャンマーと日本両国の仏教友好交流を深め合い、両国の幸福と世界平和への礎として、日本の地に純粋なお釈迦さまの教えが広く永く存在するための願いに由るものです。

工事開始 令和2年7月6日 — 完成予定 令和3年2月末頃



浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」プロジェクト 設計・監理/株式会社入江三宅設計事務所、施工/常総開発工業株式会社



日本上座仏教修道会

浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」大規模工事 空撮写真



令和2年8月3日



令和2年8月17日



空撮 常総開発工業株式会社 令和2年9月2日

◎工事進捗状況のお知らせ (令和2年9月2日時点)

「シーマー（戒壇）・仏塔建立」工事がはじまり、約2ヶ月が経ちました。建築構造を支える骨組みにあたる最も重要な基礎躯体工事を終え、「シーマー（戒壇）・仏塔建立」の基礎形状がはっきり見えてまいりました。続けて、残りのコンクリートを打ち基礎型枠解体後、一階床工事が始まります。

月一回、設計・監理/株式会社入江三宅設計事務所、施工/常総開発工業株式会社とプロジェクトチームメンバーが会議を行い、完成に向けて、チーム一丸となって鋭意進めております。

三宝をはじめ、大長老の大慈悲とお智慧に護られ、会員、関係者の皆様、炎天下の中、工事に取り組む

現場の皆様のご配慮のおかげさまで、工事は順調に進んでおります。引き続き大長老のご指導の下、皆様と心をつなげて、最善を尽くして参ります。

このような稀な機会に、「シーマー（戒壇）・仏塔建立」のための特別な功德として、お布施を希望される方は、当会のホームページのトップページ「お布施のご案内」をご参照ください。

今後の工事進捗状況は、当会ホームページ・フェイスブックなどにてご案内させていただきます。

Buddha sāsaṇaṃ ciraṃ tiṭṭhatu.

お釈迦さまの教えがなくならないで永く存在できますように

Sādhu Sādhu Sādhu

サードゥ サードゥ サードゥ

代表 吉田